



Denka

Possibility
of
chemistry

2025年度(2026年3月期) 第3四半期 決算説明会資料

証券コード：4061

デンカ株式会社

2026年2月6日

- 製造設備を安全な状態で休止させるための作業を継続中
- 休止作業の進捗に伴い、人員の適正化が進捗
- 各ステークホルダーとの協議は継続中

※ DPE（Denka Performance Elastomer LLC：米国クロロプレンゴム製造子会社）

設備の状況	<p>DPEは、製造設備を安全な状態で休止させるため、原材料や中間品などの物質の抜き出し、および処分作業を継続中。</p> <p>2Q：安全性評価で優先度が高いと判断した物質の抜き出しが完了。</p> <p>3Q：残りの物質についても抜き出しや設備内の洗浄などが順調に進捗。</p>
従業員数	<p>休止作業の進捗に伴い、人員の適正化を進めている。</p> <p>（従業員数 2025年3月末時点：約250名→2025年12月末時点：約140名→2026年4月見通し：約100名）</p>
ステークホルダー	<p>DPEは、今後の費用負担を最小化すべく、各ステークホルダーとの協議を継続中。</p>

- 営業利益：抜本的対策効果は計画並みの3Q累計＋42億円、通期＋86億円の見通し（2024年度比）
- 特別損益：3Q累計は原材料・中間品の評価減に加え、原材料等の抜取作業に伴う労務費などの費用発生により△135億円
4Qも抜取・洗浄作業に伴う労務費などの費用が特別損失として発生することが見込まれるが、特別利益などで補填することを計画

		単位：億円				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業利益	抜本的対策効果	+ 9	+9	+25	+ 43	+ 86
特別損益	DPE関連損失	△21 (原材料・中間品の評価減等のみ)	△63 (原材料等の抜取作業に伴う労務費などの費用)	△51 (原材料等の抜取作業に伴う労務費などの費用)	4Qも抜取・洗浄作業に伴う労務費などの費用が特別損失として発生	
	大船工場用地売却益	+ 82	-	-	補填	
	政策保有株式売却益など	0	0	0	検討	

・ 上期中にDPE品在庫を概ね出荷完了の為、下期からメリットがフルに寄与

・ 4Qは、昨年4QにDPEの定期修繕影響などにより、収支がさらに悪化していた為、改善幅が大きい

2025年度3Q
決算概要
(P5-P13)

■ 営業利益：182億円 前年比＋64億円

電子・先端プロダクツ数量差＋47：半導体（生成AI関連）と電力インフラ向け需要拡大、半導体（汎用）向け需要の緩やかな回復
DPE操業停止影響＋42

■ 純利益：55億円 前年比＋30億円

DPE関連損失 2024年度3Q累計 なし → 2025年度3Q累計 △135（設備内の原材料等の評価減、原材料等の抜取作業費用など）
大船工場用地売却益 2024年度3Q累計 なし → 2025年度3Q累計 ＋82

2025年度
業績予想
(P14-P17)

■ 営業利益：250億円（11月予想から据え置き）

■ 純利益：150億円（11月予想から据え置き）

営業利益：セグメント毎に強弱あるも、全体として11月予想並

クロロプレンゴム事業の抜本的対策による改善効果＋86億円などによりV字回復

純利益：クロロプレンゴム事業の抜本的対策の進捗に合わせ、相応の特別損失計上を見込むものの、
大船工場用地売却益のほか、政策保有株式売却益等の特別利益で補填

株主還元
(P18)

■ 配当予想：100円/株から変更なし（総還元性向57%）

■ 今後の配当方針：総還元性向50%（経営計画8年間累計）を目安にしたうえで、
1株当たり配当額の維持、増加を目指す

2025年度(2026年3月期)第3四半期 決算概要

■ 営業利益・経常利益・純利益いずれも大幅増益

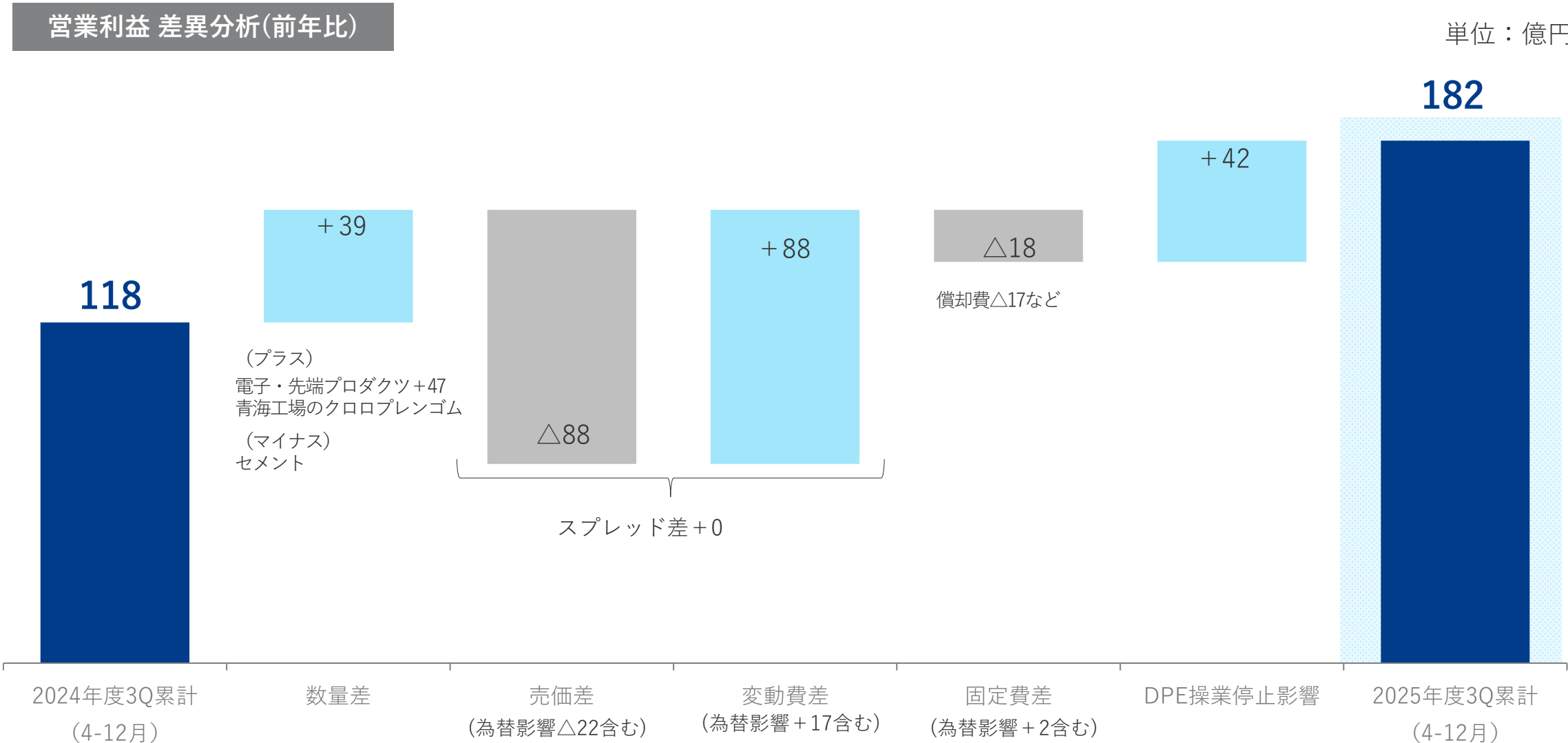
	2024年度 3Q累計 (4-12月)	2025年度 3Q累計 (4-12月)	(前年比)
売上高	3,016	2,908	△108
営業利益	118	182	+ 64
営業利益率	3.9%	6.3%	+ 2.3%
経常利益	43	137	+ 94
純利益	26	55	+ 30
為替レート (円 / \$)	152.3	148.5	
国産ナフサ (円 / K リットル)	76,200	65,100	

単位：億円

【営業外損益 前年比 + 30】
為替損益 + 12
固定資産処分損 + 6

【特別損益 前年比△ 50】
DPE関連損失 △135
大船工場用地売却益 + 82

■ 半導体（生成AI関連）と電力インフラ向け需要拡大などによる数量差プラス、DPE操業停止影響により大幅増益



■ 電子・先端プロダクツ、エラストマー・インフラソリューションが大幅増益

売上高		2024年度 3Q累計 (4-12月)	2025年度 3Q累計 (4-12月)	増減	数量差	売価差	DPE 操業停止影響	単位：億円
電子・先端プロダクツ		675	759	+ 84	+ 85	△2		
ライフイノベーション		351	349	△1	△6	+ 4		
エラストマー・インフラソリューション		845	728	△117	△64	+ 18	△70	
ポリマーソリューション		1,024	933	△91	+ 17	△108		
その他/消去差		121	139	+ 17	+ 17	-		
合計		3,016	2,908	△108	+ 49	△88	△70	
営業利益		2024年度 3Q累計 (4-12月)	2025年度 3Q累計 (4-12月)	増減	数量差	売価差	コスト差等	DPE 操業停止影響
電子・先端プロダクツ		69	97	+ 28	+ 47	△2	△17	
ライフイノベーション		76	66	△10	△1	+ 4	△13	
エラストマー・インフラソリューション		△57	△23	+ 34	△9	+ 18	△18	+ 42
ポリマーソリューション		11	20	+ 9	△1	△108	+ 118	
その他/消去差		19	22	+ 3	+ 3	-	△0	
合計		118	182	+ 64	+ 39	△88	+ 70	+ 42

■ エラストマー・インフラソリューションが大幅増益

単位：億円

売上高	2023年度				2024年度				2025年度		3Q	2Q比 (増減)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
電子・先端プロダクツ	192	225	217	245	219	232	225	247	236	265	258	△7
ライフソリューション	72	150	158	90	78	146	127	82	66	148	135	△13
エラストマー・インフラソリューション	280	292	286	256	292	272	280	272	258	241	229	△12
ポリマーソリューション	298	317	309	319	326	349	349	330	338	316	278	△38
その他/消去差	37	51	45	54	38	40	44	56	43	56	40	△16
合計	878	1,035	1,015	964	952	1,038	1,025	987	941	1,026	941	△86

営業利益	2023年度				2024年度				2025年度		3Q	2Q比 (増減)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
電子・先端プロダクツ	21	28	18	24	23	27	20	22	25	38	34	△4
ライフソリューション	9	57	31	20	17	40	19	20	2	36	28	△8
エラストマー・インフラソリューション	△7	△9	△39	△37	△2	△29	△26	△23	△14	△20	11	+ 31
ポリマーソリューション	△0	△2	6	△4	3	4	4	1	4	11	5	△6
その他/消去差	5	5	4	6	7	5	7	5	6	9	6	△3
合計	28	77	20	8	47	47	24	26	23	74	85	+ 10

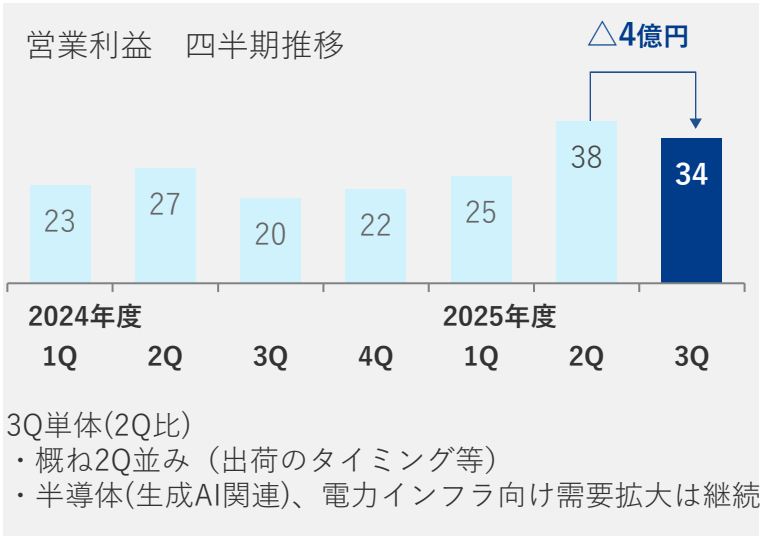
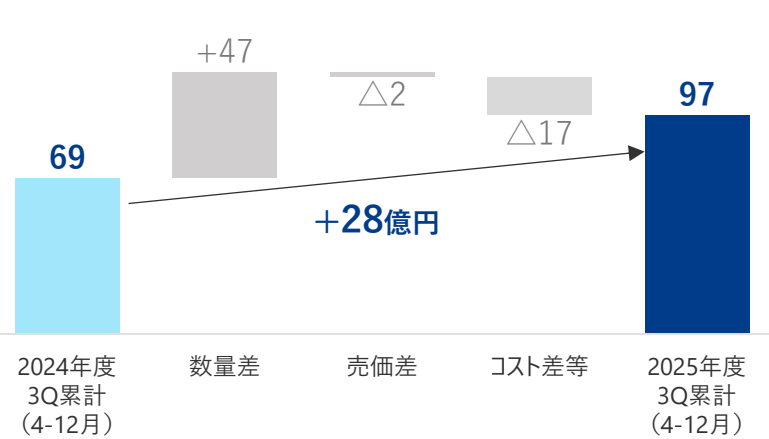
■ 半導体（生成AI関連）・電力インフラ向けの需要拡大と半導体（汎用）向けの緩やかな回復により増益

営業利益 差異分析(前年比)

単位：億円

差異理由（前年比）

※ TIM（Thermal Interface Materials：放熱材料）

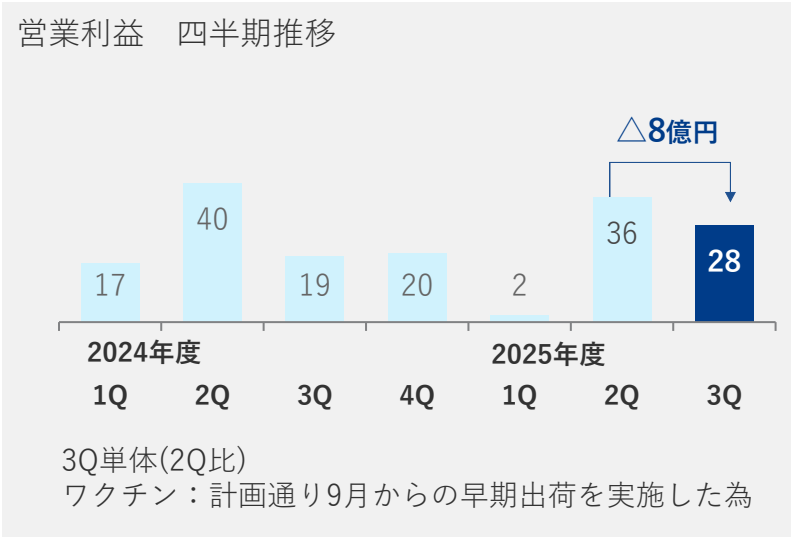
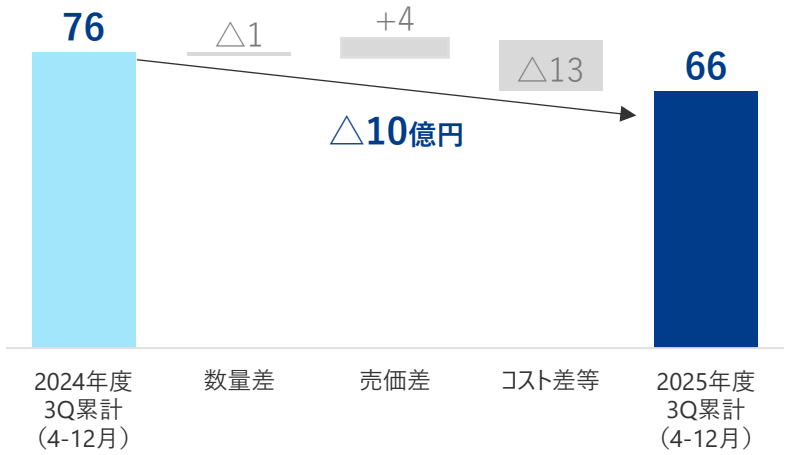


	数量差	用途別			売価差	コスト差等
		半導体・電子部品	xEV	その他		
球状アルミナ	⬆	TIM用途※ 緩やかな需要回復が継続 放熱封止剤用途 AI向け好調が継続	欧州向け低調	－	➡	前年並
球状シリカ	⬆	封止材用途 緩やかな需要回復が継続 樹脂基板用途 AI向け好調が継続	－	－	➡	償却費増△13
高機能フィルム	⬆	緩やかに回復	－	－	➡	在庫影響 (単価の高い期首在庫の影響)、他
アセチレンブラック	⬆	－	欧州向け低調	電力インフラ向け 高圧ケーブル需要が堅調	⬇	為替影響：マイナス
窒化珪素(粉)	➡	－	放熱基板向け・ベアリングボール向け EV市場は低調も、切替需要で前年並	－	➡	前年並
セラミックス基板 (窒化珪素基板・窒化アルミ基板)	➡	－	欧州向け低調	電鉄向け 引き続き堅調	⬆	値上げ進捗

■ 検査キット・臨床試薬の能力増強に伴う償却費増加を上回る販売増加がなく、減益

営業利益 差異分析(前年比)

単位：億円



差異理由 (前年比)

※コンボキット：新型コロナウイルス・インフルエンザ同時検査キット

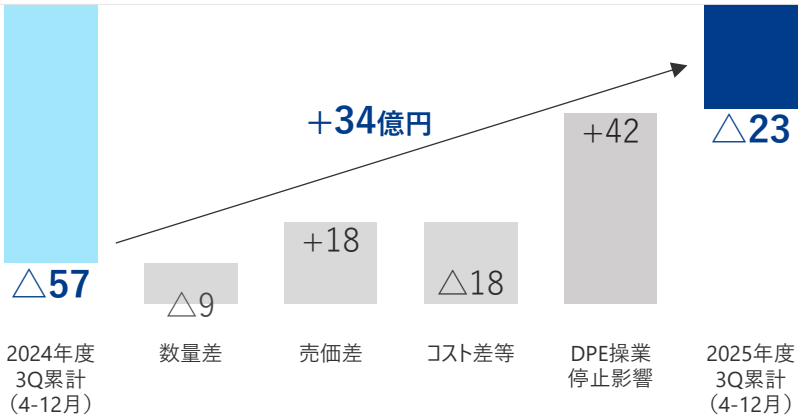
	数量差	売価差	コスト差等
インフルエンザワクチン	→ 前年並	→ 前年並	
抗原迅速診断キット	↗ ・全体では微増 ・新型コロナ検査キット出荷減も、インフルエンザの早期流行によりインフルエンザ検査キット、コンボキットは出荷増	→ 同上	↘ 固定費増加 (償却費△8、他)
臨床試薬 (炎症マーカー等)	↘ 一部海外向けの不調により販売減	↗ 販売構成差	

DPE操業停止影響により赤字が大幅に縮小

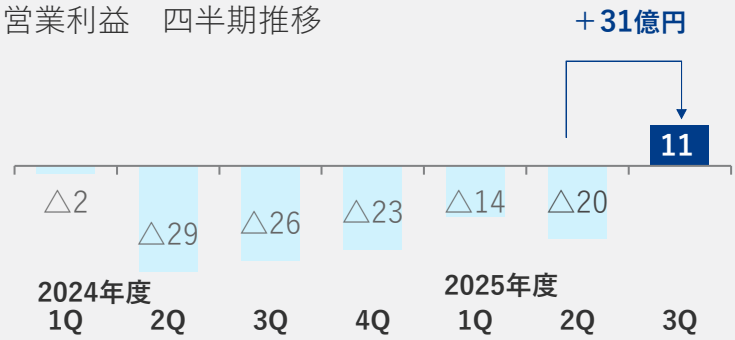
営業利益 差異分析(前年比)

単位：億円

差異理由 (前年比)



営業利益 四半期推移



3Q単体(2Q比)

クロロプレンゴム：DPE操業停止影響による良化
DPE品からの切替による
青海工場品の出荷増

数量差



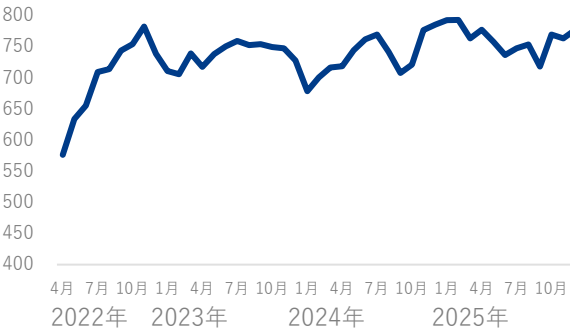
需要は前年並も、
DPE品からの切替
により青海工場品
の出荷増

売価差



- ・為替影響：マイナス
- ・為替除く影響：プラス

【通関統計】輸出単価（ドライ+ラテックス）（円/kg）



コスト差等



クロロプレンゴム：
在庫評価減計上の
増減△10
（24年3Q累計戻入＋
10 ⇒ 25年3Q累計解消
0）

特殊混和材



工事遅れにより
需要が前年を
下回る



値上げ

セメント



25年6月に生産終了

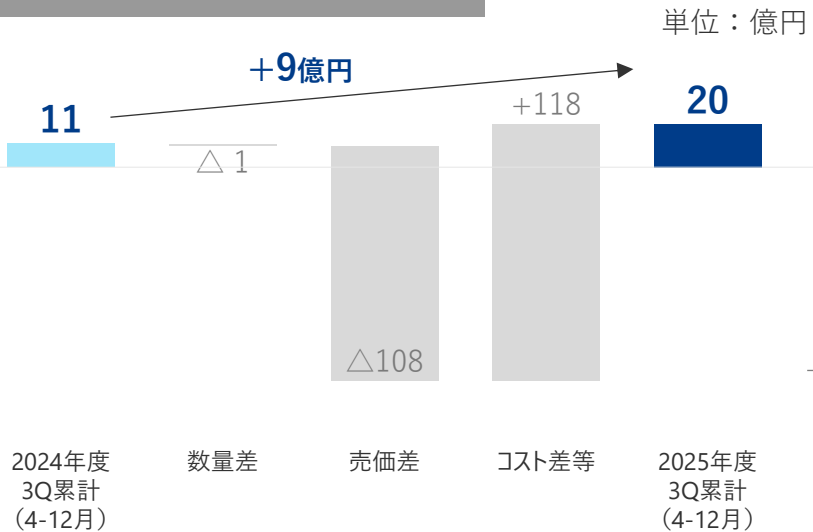


前年並

■ 食包シート・容器の適正価格への是正により増益

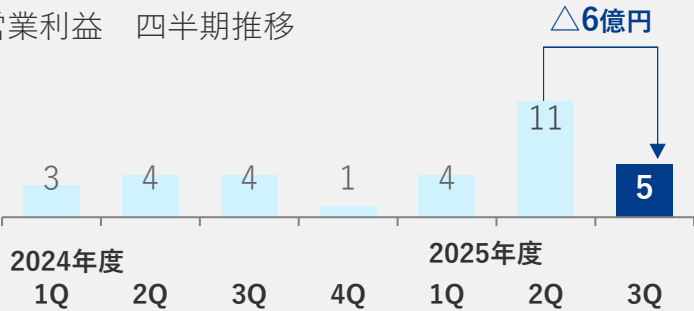
営業利益 差異分析(前年比)

差異理由 (前年比)



	数量差	売価差	コスト差等
MS樹脂	⬇️ (PCモニター向け導光板用途) 中国品との競合による販売減	⬇️	
AS・ABS・透明樹脂など	➡️ 前年並	⬇️	⬆️ 変動費：原燃料価格下落により良化
食包シート・容器	➡️ 前年並	⬆️ 適正価格への是正	
Toyokalon	⬆️ 緩やかな回復	➡️ 前年並	

営業利益 四半期推移



3Q単体(2Q比)
販売単価のフォーミュラを組む一部製品において
売価への反映の期ズレにより、2Qに一時的プラス効果
MS樹脂：中国品との競合による販売減

2025年度(2026年3月期) 業績予想

■ 11月予想から売上高のみ変更。営業利益は概ね想定並みに進捗。

単位：億円	3Q累計	4Q	2024年度 実績	3Q累計	4Q予想	2025年度 今回予想	前年比	11月 予想比
売上高	3,016	987	4,003	2,908	992	3,900	△103	△100
営業利益	118	26	144	182	68	250	+106	±0
営業利益率	3.9%	2.6%	3.6%	6.3%	6.3%	6.4%	+2.7%	+0.1%
経常利益	43	33	76	137	53	190	+114	±0
特別利益	3	0	4	85	利益	補填		
特別損失：DPE関連	-	△179	※ △179	△135	損失			
特別損失：その他	△8	△63	△71	△4				
純利益	26	△149	△123	55	95	150	+273	±0
為替レート （円 / \$）	152.3	154.1	152.8	148.5	156.2	150.4		
国産ナフサ （円 / Kリットル）	76,200	73,800	75,700	65,100	64,200	65,000		

※減損損失△161億円ほか

■ 営業利益のセグメント別内訳は修正。全体では概ね想定並みに進捗

営業利益	3Q累計 (4-12月)	4Q 予想	通期 予想	11月 予想比	進捗状況
電子・先端プロダクツ	97	33	130	+5	半導体（生成AI関連）・電力インフラ向けの需要拡大が継続、半導体（汎用）向けも緩やかな回復により、想定をやや上回る
ライフノベーション	66	4	70	△5	抗原迅速診断キット：足元では感染症の流行が落ち着いており、想定より弱い
エラストマー・ インフラソリューション	△23	23	0	△5	クロロプレンゴム：需要回復が想定より弱い
ポリマーソリューション	20	10	30	+5	コスト減少により想定を上回る
その他/消去差	22	△1	20	±0	
合計	182	68	250	±0	

単位：億円

■ 設備投資・投融資額予想を見直し

単位：億円

	設備投資・投融資額				減価償却費				研究開発費			
	3Q累計（前年比）		通期（11月予想比）		3Q累計（前年比）		通期（11月予想比）		3Q累計（前年比）		通期（11月予想比）	
	2024年度	2025年度	2025年度		2024年度	2025年度	2025年度		2024年度	2025年度	2025年度	
	実績	実績	11月 予想	今回 予想	実績	実績	11月 予想	今回 予想	実績	実績	11月 予想	今回 予想
電子・先端プロダクツ	208	259	400	※1 370	70	83	112	変更 なし	42	43	60	変更 なし
ライフソリューション	84	14	30	30	24	32	40		35	35	50	
エラストマー・ インフラソリューション	91	85	110	110	69	※2 62	84		19	18	25	
ポリマーソリューション	43	37	60	60	39	38	50		18	15	20	
その他/消去差	-	-	-	-	3	3	4		-	-	-	
合計	426	395	600	570	205	217	290		114	111	155	

※1 アセチレンブラックのタイでの新規製造拠点設立投資における検収タイミングのズレ
※2 DPEの償却費減を含む

■ キャッシュフローの改善を見込み、前年同額の100円/株から変更なし

		2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
当期純利益	(億円)	250	227	228	260	128	119	△123	150
1株当たり配当	(円/株)	120.0	125.0	125.0	145.0	100.0	100.0	100.0	100.0
								(中間50.0 期末50.0)	(中間50.0 期末50.0)
配当額	(億円)	105	108	108	125	86	86	86	86
配当性向		42%	48%	47%	48%	68%	72%	-	57%
自己株取得	(億円)	21	-	-	-	-	-	-	-
総還元額	(億円)	126	108	108	125	86	86	86	86
総還元性向		50%	48%	47%	48%	68%	72%	-	57%
減価償却額	(億円)	229	225	229	239	270	269	279	290
設備投資・投融資額	(億円)	328	369	423	356	394	437	692	570
有利子負債残高	(億円)	1,121	1,343	1,382	1,370	1,697	1,744	2,177	2,150
ネットDEレシオ		0.40倍	0.42倍	0.42倍	0.40倍	0.50倍	0.45倍	0.61倍	0.66倍
ROIC		7.8%	6.6%	6.8%	7.3%	6.7%	2.5%	2.5%	4.2%
ROE		10.3%	9.1%	8.8%	9.4%	4.4%	4.0%	△4.1%	5.1%

単位：億円

売上高	2024年度 実績	2025年度 予想	増 減	数量差	売価差	DPE 操業停止影響
電子・先端プロダクツ	922	1,050	+128	+122	+6	
ライフイノベーション	433	400	△33	△35	+3	
エラストマー・インフラソリューション	1,117	1,000	△117	△27	+23	△113
ポリマーソリューション	1,354	1,250	△104	+25	△128	
その他/消去差	177	200	+23	+23	-	
合計	4,003	3,900	△103	+107	△97	△113

営業利益	2024年度 実績	2025年度 予想	増 減	数量差	売価差	コスト差等	DPE 操業停止影響
電子・先端プロダクツ	92	130	+38	+63	+6	△31	
ライフイノベーション	96	70	△26	△9	+3	△19	
エラストマー・インフラソリューション	△80	0	+80	+31	+23	△60	+86
ポリマーソリューション	12	30	+18	△5	△128	+151	
その他/消去差	25	20	△5	△5	-	+0	
合計	144	250	+106	+76	△97	+41	+86

単位：億円

売上高	2023年度				2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q予想
電子・先端プロダクツ	192	225	217	245	219	232	225	247	236	265	258	291
ライフイノベーション	72	150	158	90	78	146	127	82	66	148	135	51
エラストマー・インフラソリューション	280	292	286	256	292	272	280	272	258	241	229	272
ポリマーソリューション	298	317	309	319	326	349	349	330	338	316	278	317
その他/消去差	37	51	45	54	38	40	44	56	43	56	40	61
合計	878	1,035	1,015	964	952	1,038	1,025	987	941	1,026	941	992

営業利益	2023年度				2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q予想
電子・先端プロダクツ	21	28	18	24	23	27	20	22	25	38	34	33
ライフイノベーション	9	57	31	20	17	40	19	20	2	36	28	4
エラストマー・インフラソリューション	△7	△9	△39	△37	△2	△29	△26	△23	△14	△ 20	11	23
ポリマーソリューション	△0	△2	6	△4	3	4	4	1	4	11	5	10
その他/消去差	5	5	4	6	7	5	7	5	6	9	6	△ 1
合計	28	77	20	8	47	47	24	26	23	74	85	68

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

世界に誇れる、化学を。

Denka

本資料に関するお問い合わせ先
デ ン カ 株 式 会 社
コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5290-5511

URL <https://www.denka.co.jp>